

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-3268

(43)公開日 平成6年(1994)1月18日

(51)Int.Cl.⁵

A 47 L 25/00
13/16

識別記号 庁内整理番号

B
B 2119-3B

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数3(全3頁)

(21)出願番号 実願平3-6367

(22)出願日 平成3年(1991)2月15日

(71)出願人 591029493

宮▲崎▼ 廣實

大阪府藤井寺市小山7丁目14番7号

(72)考案者 宮▲崎▼ 廣實

大阪府藤井寺市小山7丁目14番7号

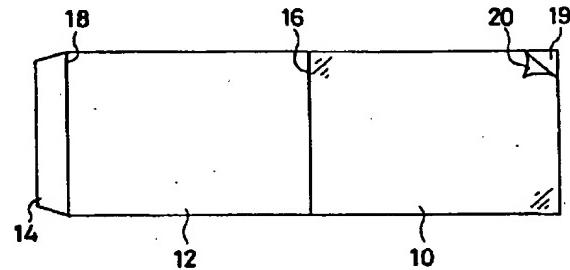
(74)代理人 弁理士 小谷 悅司 (外3名)

(54)【考案の名称】 清掃具

(57)【要約】

【目的】 携帯しながら簡便かつ効果的に清掃を行う。

【構成】 可携性をもつ單一のシート部材からなり、片面に粘着剤層19をもつ粘着部10と、この粘着部10と略同等の長手寸法をもつカバー部12と、このカバー部12よりも短い長手寸法をもつ折り曲げ部14とを順に有し、上記粘着部10、カバー部12、折り曲げ部14の境界部16、18が略360°折り曲げ可能であり、上記カバー部12において上記粘着剤層19と同じ側の面、上記粘着剤層19の表面の少なくとも一方に剥離層20が配されている。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 可撓性を有する单一のシート部材で全体が形成された清掃具であって、片面に粘着剤層が配された粘着部と、この粘着部と略同等の長手寸法を有するカバー部と、上記粘着部よりも小さい長手寸法を有する折り曲げ部とを順に有し、上記粘着部とカバー部との境界部及び上記カバー部と折り曲げ部との境界部がそれぞれ約360°折り曲げ可能に構成されるとともに、上記カバー部において上記粘着剤層と同じ側の面と上記粘着剤層の表面の少なくとも一方に剥離層が配されていることを特徴とする清掃具。

【請求項2】 請求項1記載の清掃具において、上記カバー部に、このカバー部の長手方向と略同等の方向に延びる一対のスリットを形成したことを特徴とする清掃具。

【請求項3】 請求項2記載の清掃具において、上記スリットの両端部にこのスリットよりも幅広の貫通穴を設けたことを特徴とする清掃具。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の第1実施例における清掃具の展開状態*20

*を示す正面図である。

【図2】(a)は上記清掃具の携帯状態を示す正面図、(b)は同状態を示す背面図である。

【図3】(a)は図2(a)のIII-III線断面図、

(b)は上記清掃具の使用状態を示す断面図である。

【図4】上記清掃具の使用状態を示す斜視図である。

【図5】第2実施例における清掃具の展開状態を示す正面図である。

【図6】上記清掃具の使用状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

10 粘着部

12 カバー部

14 折り曲げ部

16 粘着部とカバー部との境界部

18 カバー部と折り曲げ部との境界部

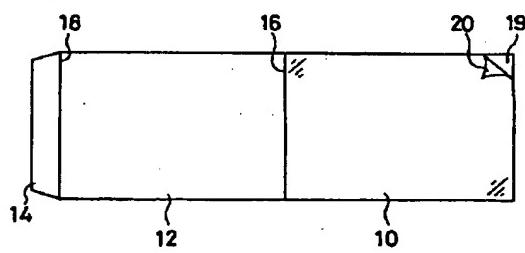
19 粘着剤層

20 セパレータ

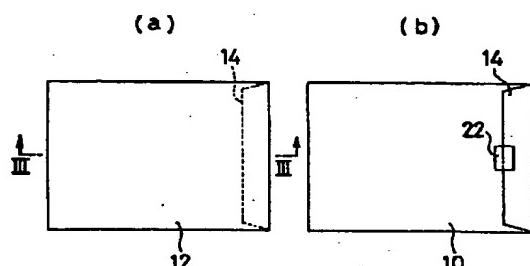
24 スリット

26 ストップホール（貫通穴）

【図1】

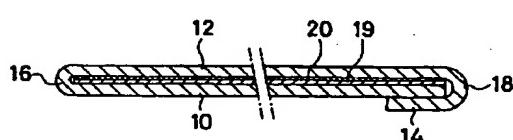


【図2】

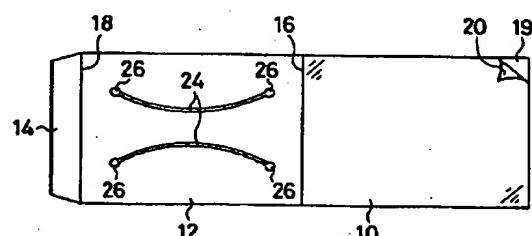


【図3】

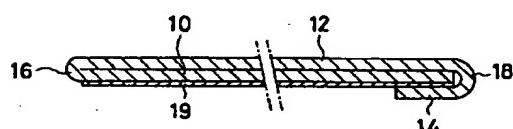
(a)



【図5】



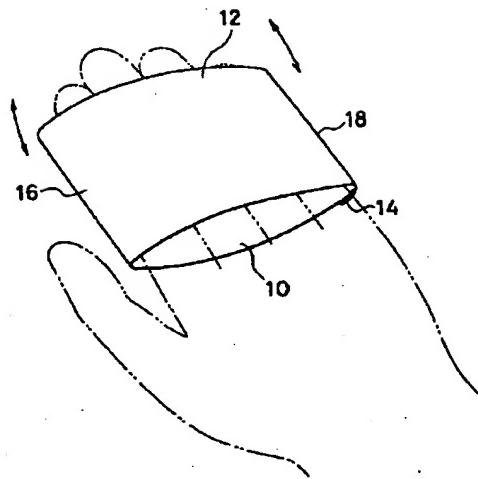
(b)



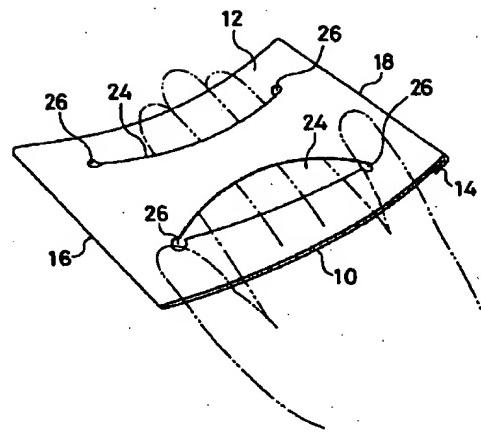
実開平6-3268

(3)

【図4】



【図6】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、ちりやほこり、菓子くず、砂塵、ガラス片等の細かいゴミを清掃対象面から除去するための清掃具に関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来、衣服や家具、その他の物品等に付着したちり等のゴミの除去は、ほうきや雑巾、ブラシ等の手段によって行われている。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

上記のような雑巾、ほうき等の手段は、大がかりで使用に手間を要し、また携帯には適していないので、旅行先等で不意に付着した汚れを迅速かつ簡便に除去するのは難しい。また近年は、衣服等に付着したゴミを除去するための携帯用ブラシも提供されるに至っているが、このような携帯用ブラシでは清掃効果が薄く、上記ゴミ等を完全に除去するのは困難である。

【0004】

本考案は、このような事情に鑑み、携帯に適し、しかも簡便にかつ効果的に清掃を行うことができる清掃具を提供することを目的とする。

【0005】**【課題を解決するための手段】**

本考案は、可撓性を有する单一のシート部材で全体が形成された清掃具であつて、片面に粘着剤層が配された粘着部と、この粘着部と略同等の長手寸法を有するカバー部と、上記粘着部よりも小さい長手寸法を有する折り曲げ部とを順に有し、上記粘着部とカバー部との境界部及び上記カバー部と折り曲げ部との境界部がそれぞれ略360°折り曲げ可能に構成されるとともに、上記カバー部において上記粘着剤層と同じ側の面と上記粘着剤層の表面の少なくとも一方に剥離層が配されているものである（請求項1）。

【0006】

さらに、上記カバー部に、このカバー部の長手方向と略同等の方向に延びる一対のスリットを形成することにより（請求項2）、後述のようなよりすぐれた効果を得ることができる。ここで、上記スリットの両端部にこのスリットよりも幅広の貫通穴を設けることがより好ましい（請求項3）。

【0007】

【作用】

請求項1記載の清掃具によれば、上記粘着部に対して上記粘着剤層が配されている側にカバー部を折り倒し、このカバー部に対して上記折り曲げ部を上記粘着部がある側に折り倒してこの粘着部において上記粘着剤層が配されていない側の面に係止することにより、携帯用清掃具として持ち運ぶことができる。しかも、この状態では上記粘着剤層とカバー部との間に剥離層が介在しているので、粘着剤層にカバー部が剥離不能に貼着されるおそれはない。

【0008】

使用の際には、上記粘着部への折り曲げ部の係止を外し、上記携帯状態を基準に粘着部に対してカバー部を略 360° 折り返して粘着部の裏側へ回し、かつこのカバー部に対して折り曲げ部も 360° 折り返してこの折り曲げ部を粘着剤層に貼着すればよい。この状態で、上記粘着部とカバー部との間に複数本の指を挿入することにより、これらの指の厚みで上記粘着部を撓ませて湾曲した粘着面を形成することができ、この粘着面を清掃対象面に押し当ててローリングを繰り返すことにより、この清掃対象面に付着しているゴミを粘着剤層側に転移させることができる。

【0009】

さらに、請求項2記載の清掃具によれば、上記粘着部とカバー部との間に指を挿入する代わりに、一対のスリットに指を挿入することにより、さらに曲率の大きい粘着面を得ることができ、しかも、より安定した状態で清掃具を保持することが可能となる。さらに、請求項3記載の清掃具によれば、上記スリットの両端部に貫通孔が設けられることにより、これら両端部での応力集中が緩和される。

【0010】

【実施例】

本考案の第1実施例を図1～図4に基づいて説明する。

【0011】

図1は、本実施例における清掃具が携帯に供される前の状態を示したものである。この清掃具は、厚手の紙からなる单一のシート部材で構成されており、全体は外力に応じて適宜撓み可能となっている。

【0012】

この清掃具は、図の右側から順に、矩形状の粘着部10、カバー部12、及び折り曲げ部14を有し、粘着部10とカバー部12との境界部16、及びカバー部12と折り曲げ部14との境界部18でそれぞれ360°折り曲げ可能となっている。上記粘着部10の片側面（図1では手前側面）には粘着剤層19が配設されており、その表面には保護用のセパレータ（剥離層）20が剥離可能に被着されている。上記カバー部12は、上記粘着部10と略同等の形状を有し、折り曲げ部14は、上記粘着部10よりも長手寸法（図1の左右方向の寸法）が小さい形状に形成されている。

【0013】

このような清掃具を携帯用として提供する場合には、まず、図1の状態から、粘着部10に対して上記粘着剤層19が配されている側（図1の手前側）にカバー部12を180°折り倒し、このカバー部12に対して折り返し部14を上記粘着部10がある側（図1の向う側）に180°折り倒してこの粘着部10において上記粘着剤層19が配されていない側の面にシール22（図2（b））等で係止する。これにより、粘着剤層19はカバー部12で覆われ、清掃具全体は図2（a）（b）及び図3（a）に示されるようなコンパクトな状態となり、携帯に適したものとなる。また、この状態でカバー部12と粘着剤層19との間には図3（a）に示されるようにセパレータ20が介在しているので、カバー部12が粘着剤層19側に剥離不能に貼着されるおそれはない。

【0014】

このような清掃具の携帯中、清掃が必要になった場合には、まず上記シール22等による折り曲げ部14の係止を外し、図1のような展開状態にして粘着剤層19からセパレータ20を剥がすとともに、境界部16においてカバー部12を

粘着部10に対して上記携帯状態を基準に略360°折り返すことにより、粘着部10の裏側（粘着剤層19が配されていない側）にまわす。さらに、境界部18において折り曲げ部14をカバー部12に対して上記携帯状態を基準に略360°折り返すことにより、粘着部10の表側、すなわち粘着剤層19が配された側にまわし、この粘着剤層19の端部に上記折り曲げ部14を貼着する。そして、上記粘着剤層19を下に向けることにより、図3（b）に示されるような状態が得られる。

【0015】

さらに、この状態から上記粘着部10とカバー部12との間に複数本の指を挿入することにより、これらの指によって図4に示されるように清掃具を保持することができるとともに、これら指の厚み分だけカバー部12及び粘着部10が各々上下に携んで清掃具下側に湾曲した粘着面が形成されることとなる。

【0016】

この状態で、上記粘着面を清掃対象面に押し当て、図4の矢印に示すようなローリングを繰り返すことにより、上記清掃対象面に付着しているゴミを粘着剤層19側へ転移させることができ、従来の携帯用ブラシ等よりもさらに強力な清掃効果を得ることができる。具体的には、ドスキン、サージ、フラノ等といった衣服の生地や自動車・ソファなどのシート面に付着したゴミ、家具の天板上に積もったちりや埃、さらには地面に飛散したガラス片に至るまで、様々なゴミを極めて簡便にかつ効果的に除去することが可能である。

【0017】

また、この清掃具は上記紙等の比較的安価な材料で形成できるので、使い捨て用としても適しており、さらに、上記カバー部12の表側面（図3（a）の上側面）等に広告文やイラスト等を印刷することにより、営業活動の一助にもなり得る。

【0018】

次に、第2実施例を図5及び図6に基づいて説明する。

【0019】

ここでは、前記第1実施例に示した清掃具のカバー部12に、このカバー部1

2と粘着部10の配列方向（図5では左右方向）と略平行な方向に延びる形状（この実施例では円弧状）の一対のスリット24が設けられており、各スリット24の両端部には、このスリット24よりも幅広のストップホール（貫通孔）26が穿設されている。

【0020】

このような清掃具によれば、前記第1実施例と同様にして図3（b）の状態にした後、今度は上記カバー部12と粘着部10との間でなく、両スリット24を貫通するようにして指を挿入することにより、前記第1実施例と同様に清掃具を保持し、かつ、同実施例の清掃具よりもより曲率の大きい粘着面を得ることができる。特に、図6に示されるように、上記スリット24内に人指し指、中指、及び薬指の中央3本の指を挿入し、その両脇を親指及び小指で上から押えつけるようすることにより、より安定した状態で清掃具を保持することができ、ローリング動作もより円滑に行うことができる。しかも、スリット24の両端部に設けられたストップホール26の存在により、この箇所での応力集中が緩和されるため、この部分から破れ等が生じることが防がれる。

【0021】

なお、本考案はこのような実施例に限定されるものでなく、例として次のような態様をとることも可能である。

【0022】

(1) 前記各実施例では、粘着剤層19の表面にセパレータ20を剥離可能に貼着することにより、この粘着剤層19にカバー部12が直接貼付くのを防いでいるが、このセパレータ20に代え、例えばカバー部12において上記粘着剤層19に対向する面に離形剤等で剥離処理を施す、すなわちカバー部12の表面に剥離層を形成するようにしても同様の効果を得ることができる。

【0023】

(2) 本考案において、カバー部12の形状は粘着部10と同一でなくてもよく、図2（a）（b）に示されるような携帯状態で粘着部10をほぼ覆うような形状であればよい。また、カバー部12の長手寸法（図1の左右方向の寸法）は、粘着部10のそれと厳密に一致していなくてもよく、図3（a）あるいは（b）

に示されるように境界部18で折り曲げ部14を折り返すことができる程度まで近似していればよい。

【0024】

(3) 本考案に係る清掃具の本体の材質は、可撓性を有するシート部材が得られるものであればその具体的な種類を問わない。例えば、種々のプラスチック等により薄肉に形成したものであってもよく、この場合には、前記境界部16, 18にスリット等を設けて略360°折り曲げ可能に構成すればよい。

【0025】

【考案の効果】

以上のように本考案は、可撓性を有する单一のシート部材からなる簡単かつ低コストの構造を有するものであり、しかも、粘着部に対して粘着剤層側にカバー部を折り倒し、このカバー部に対して上記折り返し部を折り倒して粘着部の裏面に係止するとともに、上記粘着剤層とカバー部との間に剥離層を介在させることにより、携帯に適した状態にすることができる。さらに、この状態からカバー部を裏返して上記折り曲げ部を粘着剤層に貼着し、上記粘着部とカバー部との間に複数本の指を挿入することにより、この指で清掃具を保持し、かつ湾曲した粘着面を得ることができ、この粘着面を清掃対象面に押し当ててローリングを繰り返すことにより、この清掃対象面に付着しているゴミを簡便にかつ効果的に除去することができる効果がある。

【0026】

さらに、上記カバー部に、このカバー部の長手方向に延びる一対のスリットを形成したものによれば、このスリットに指を挿入することにより、さらに曲率の大きい粘着面を得ることができ、かつ、より安定した状態で清掃具を保持することが可能になる。さらに、上記スリットの両端部にこのスリットよりも幅広の貫通穴を設けたものによれば、この貫通穴の存在でその配設箇所での応力集中を緩和することにより、同箇所から破れ等が生じるといった不都合を未然に防ぐことができる。

*** NOTICES ***

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

DESCRIPTION OF DRAWINGS

[Brief Description of the Drawings]

[Drawing 1] It is the front view showing the expansion condition of the cleaning implement in the 1st example of this design.

[Drawing 2] The front view in which (a) shows the pocket condition of the above-mentioned cleaning implement, and (b) are the rear view showing this condition.

[Drawing 3] It is the cross section in which (a) shows the III-III line cross section of drawing 2 (a), and (b) shows the busy condition of the above-mentioned cleaning implement.

[Drawing 4] It is the perspective diagram showing the busy condition of the above-mentioned cleaning implement.

[Drawing 5] It is the front view showing the expansion condition of the cleaning implement in the 2nd example.

[Drawing 6] It is the perspective diagram showing the busy condition of the above-mentioned cleaning implement.

[Description of Notations]

10 Adhesion Section

12 Covering Section

14 Bending Section

16 Boundary Section of Adhesion Section and Covering Section

18 Bend with Covering Section and it is Boundary Section with Section.

19 Binder Layer

20 Separator

24 Slit

26 Stop Hole (through Hole)

[Translation done.]

*** NOTICES ***

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Utility model registration claim]

[Claim 1] The adhesion section with which it is the cleaning implement with which the whole was formed by single sheet member which has flexibility and which was matched for one side with a binder layer, It has in order this adhesion section, the covering section which has a longitudinal size of an abbreviation EQC, and the bending section which has a longitudinal size smaller than the above-mentioned adhesion section. While bending with the boundary section of the above-mentioned adhesion section and the covering section, and the above-mentioned covering section and constituting the boundary section with the section respectively possible [360 degree bending of abbreviation] A cleaning implement characterized by allotting stratum disjunctum to at least one side of a field of the same side as the above-mentioned binder layer, and the surface of the above-mentioned binder layer in the above-mentioned covering section.

[Claim 2] A cleaning implement characterized by forming a slit of a pair prolonged in a longitudinal direction of this covering section, and the direction of an abbreviation EQC in the above-mentioned covering section in a cleaning implement according to claim 1.

[Claim 3] A cleaning implement characterized by preparing a through hole broader than this slit in both ends of the above-mentioned slit in a cleaning implement according to claim 2.

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed explanation of a design]

[0001]

[Industrial Application]

This design is related with the cleaning implement for removing fine dust, such as dust, dust, confectionery waste, sand dust, and a glass piece, from the field for cleaning.

[0002]

[Description of the Prior Art]

Conventionally, removal of dust, such as dust adhering to clothes, furniture, other goods, etc., is performed by the means of a broom, a dustcloth, a brush, etc., etc.

[0003]

[Problem(s) to be Solved by the Device]

The means of the above dustcloths, a broom, etc. is large-scale, and since use takes time and effort to it and it is not suitable for a cellular phone, it is difficult for it to remove the dirt which adhered suddenly at the travel place etc. quickly and simple. Moreover, although the portable brush for removing the dust adhering to clothes etc. in recent years has also come to be offered, it is difficult for the cleaning effect to be thin and to remove the above-mentioned dust etc. completely with such a portable brush.

[0004]

In view of such a situation, this design is suitable for a cellular phone, and aims at offering the cleaning implement which can moreover clean that it is simple and effectively.

[0005]

[Means for Solving the Problem]

The adhesion section with which this design is the cleaning implement with which the whole was formed by single sheet member which has flexibility and which was matched for one side with a binder layer, It has in order this adhesion section, the covering section which has a longitudinal size of an abbreviation EQC, and the bending section which has a longitudinal size smaller than the above-mentioned adhesion section. While bending with the boundary section of the above-mentioned adhesion section and the covering section, and the above-mentioned covering section and constituting the boundary section with the section respectively possible [360 degree bending of abbreviation] Stratum disjunctum is allotted to at least one side of a field of the same side as the above-mentioned binder layer, and the surface of the above-mentioned binder layer in the above-mentioned covering section (claim 1).

[0006]

Furthermore, (claim 2) and an effect like the after-mentioned which depended and was excellent can be acquired by forming in the above-mentioned covering section a slit of a pair prolonged in a longitudinal direction of this covering section, and the direction of an abbreviation EQC. Here, it is more desirable to prepare a through hole broader than this slit in both ends of the above-mentioned slit (claim 3).

[0007]

[Function]

According to the cleaning implement according to claim 1, it can carry as a portable cleaning

implement by folding the covering section in the side to which the above-mentioned binder layer is allotted to the above-mentioned adhesion section, folding the above-mentioned bending section in a side with the above-mentioned adhesion section to a derrick down and this covering section, and stopping to the near field where the above-mentioned binder layer is not allotted in the adhesion section of a derrick-down lever. And since stratum disjunctum intervenes between the above-mentioned binder layer and the covering section in this condition, there is no possibility that the covering section may be stuck on a binder layer at exfoliation impossible.

[0008]

In the case of use, the stop of the bending section to the above-mentioned adhesion section is removed, the covering section is turned up 360 degrees of abbreviation to the adhesion section on the basis of the above-mentioned pocket condition, and it turns to the background of the adhesion section, and bends to the covering section of a parenthesis, and the section should just also stick the bending section of 360-degree clinch lever on a binder layer. The dust adhering to this field for cleaning can be transferred to a binder layer side by being able to form the adhesive face which the above-mentioned adhesion section was sagged by the thickness of these fingers, and curved by it by inserting two or more fingers between the above-mentioned adhesion section and the covering section, pressing this adhesive face against the field for cleaning, and repeating rolling in this condition.

[0009]

Furthermore, instead of inserting a finger between the above-mentioned adhesion section and the covering section, by inserting a finger in the slit of a pair, the adhesive face where curvature is still larger can be acquired, and, according to the cleaning implement according to claim 2, it becomes possible to hold a cleaning implement in the condition of having been stabilized more, moreover. Furthermore, according to the cleaning implement according to claim 3, the stress concentration in these both ends is eased by preparing a through tube in the both ends of the above-mentioned slit.

[0010]

[Example]

The 1st example of this design is explained based on drawing 1 – drawing 4.

[0011]

Drawing 1 shows the condition before a cellular phone is presented with the cleaning implement in this example. This cleaning implement consists of single sheet members which consist of thick paper, and the whole can be suitably bent according to external force.

[0012]

Sequentially from the right of drawing, this cleaning implement has rectangle-like the adhesion section 10, the covering section 12, and the bending section 14, and bends them with the boundary section 16 of the adhesion section 10 and the covering section 12, and the covering section 12, and 360-degree bending is possible for it respectively in the boundary section 18 with the section 14. The binder layer 19 is arranged in the piece side (drawing 1 near-side side) of the above-mentioned adhesion section 10, and the separator 20 for protection (stratum disjunctum) is put on the surface possible [exfoliation]. The above-mentioned covering section 12 has the configurations of the above-mentioned adhesion section 10 and an abbreviation EQC, and the bending section 14 is formed in the configuration where a longitudinal size (size of the longitudinal direction of drawing 1) is small, rather than the above-mentioned adhesion section 10.

[0013]

In offering such a cleaning implement as portable The covering section 12 from the condition of drawing 1 to the side (near side of drawing 1) to which the above-mentioned binder layer 19 is allotted to the adhesion section 10 First, 180-degree chip box derrick down, The clinch section 14 is stopped with a seal 22 (drawing 2 (b)) etc. to this covering section 12 to the near field where the above-mentioned binder layer 19 is not allotted to a side (other side of drawing 1) with the above-mentioned adhesion section 10 in the adhesion section 10 of 180-degree chip box derrick-down lever. Thereby, the binder layer 19 is covered in the covering section 12, and the whole cleaning implement will be in the compact condition that it is shown in drawing 2 (a),

(b), and drawing 3 (a), and will become a thing suitable for a cellular phone. Moreover, since the separator 20 intervenes as shown in drawing 3 (a) between the covering section 12 and the binder layer 19 in this condition, there is no possibility of the 12 covering section that it may be stuck on the binder layer 19 side at exfoliation impossible.

[0014]

When cleaning is needed, while removing the stop of the bending section 14 by the above-mentioned seal 22 grade first, changing into an expansion condition like drawing 1 and removing a separator 20 from the binder layer 19, it turns during carrying of such a cleaning implement to the background (the side to which the binder layer 19 is not allotted) of the adhesion section 10 by turning up the covering section 12 360 degrees of abbreviation on the basis of the above-mentioned pocket condition to the adhesion section 10 in the boundary section 16. Furthermore, by bending in the boundary section 18 and turning up the section 14 360 degrees of abbreviation on the basis of the above-mentioned pocket condition to the covering section 12, it turns to the side to which it was allotted, the side front 19, i.e., the binder layer, of the adhesion section 10, and the above-mentioned bending section 14 is stuck on the edge of this binder layer 19. And the condition that it is shown in drawing 3 (b) is acquired by turning the above-mentioned binder layer 19 downward.

[0015]

Furthermore, as shown to drawing 4 by these fingers by inserting two or more fingers between the above-mentioned adhesion section 10 and the covering section 12 from this condition, while being able to hold a cleaning implement, the adhesive face where the covering section 12 and adhesion section 10 bent up and down respectively, and curved to the cleaning implement down side by the thickness of these fingers will be formed.

[0016]

In this condition, by pressing the above-mentioned adhesive face against the field for cleaning, and repeating rolling as shown in the arrow head of drawing 4, the dust adhering to the above-mentioned field for cleaning can be transferred to the binder layer 19 side, and the cleaning effect still more powerful than the conventional portable brush etc. can be acquired. It is possible to remove various dust that it is very simple and effectively until it specifically results in the dust adhering to sheet sides [, such as the ground of clothes, and an automobile, a sofa,], such as doeskin, a surge, and flannel, the dust which accumulated on the top plate of furniture, dust, and the glass piece which dispersed on the ground further.

[0017]

Moreover, since this cleaning implement can be formed with comparatively cheap materials, such as the above-mentioned paper, it is suitable also as an object for throwing away, and can also become an aid of operating activities further by printing an advertising sentence, an illustration, etc. to the side front side (top side of drawing 3 (a)) of the above-mentioned covering section 12 etc.

[0018]

Next, the 2nd example is explained based on drawing 5 and drawing 6.

[0019]

the covering section 12 of the cleaning implement here shown in said 1st example — the array direction (drawing 5 longitudinal direction) of this covering section 12 and the adhesion section 10, and abbreviation — the slit 24 of the pair of the configuration (circular in this example) prolonged in the parallel direction is formed, and the stop hole (through tube) 26 broader than this slit 24 is drilled in the both ends of each slit 24.

[0020]

According to such a cleaning implement, after changing into the condition of drawing 3 (b) like said 1st example, it is not between the above-mentioned covering section 12 and the adhesion section 10 shortly, and a cleaning implement can be held like said 1st example by inserting a finger, as both the slits 24 are penetrated, and the adhesive face where nearby curvature is larger than the cleaning implement of this example can be acquired. As especially shown in drawing 6, by inserting ******, the middle finger, and the finger of three centers of the third finger into the above-mentioned slit 24, and making it suppress both the side from a top with the

thumb and a digitus minimus, in the condition of having been stabilized more, a cleaning implement can be held and rolling actuation can also be performed more smoothly. And since the stress concentration in this part is eased by existence of the stop hole 26 established in the both ends of a slit 24, it prevents a tear etc. arising from this portion.

[0021]

In addition, it is also possible for this design not to be limited to such an example and to take the following modes as an example.

[0022]

(1) Although it has prevented the covering section 12 sticking to this binder layer 19 directly by sticking a separator 20 on the surface of the binder layer 19 possible [exfoliation] in said each example, the same effect can be acquired, even if it performs exfoliation processing to the field which replaces with this separator 20, for example, counters the above-mentioned binder layer 19 in the covering section 12 by a ** form agent etc., namely, forms stratum disjunctum in the surface of the covering section 12.

[0023]

(2) In this design, the configuration of the covering section 12 may not be the same as that of the adhesion section 10, and should just be a configuration which covers the adhesion section 10 mostly in the state of carrying as shown in drawing 2 (a) and (b), moreover, the longitudinal size (size of the longitudinal direction of drawing 1) of the covering section 12 is strictly in agreement with it of the adhesion section 10 — *** — drawing 3 (a) — or (b) —

What is necessary is for it to be alike, and just to approximate to the degree which can bend in the boundary section 18 and can turn up the section 14 so that it may be shown.

[0024]

(3) The quality of the material of the main part of the cleaning implement concerning this design will not ask the concrete class, if the sheet member which has flexibility is obtained. For example, what is necessary is to form in thin meat with various plastics etc., to prepare a slit etc. in said boundary sections 16 and 18, and just to constitute possible [360 degree bending of abbreviation] in this case.

[0025]

[Effect of the Device]

As mentioned above, it has the structure of low cost, and this design can be changed into the condition which consists of a single sheet member which has flexibility were suitable for the cellular phone, easy and by making stratum disjunctum intervene between the above-mentioned binder layer and the covering section while folding the covering section, folding and moving the above-mentioned clinch section to a binder layer position to a derrick down and this covering section moreover to the adhesion section and stopping at the rear face of the adhesion section. Furthermore, by turning the covering section over from this condition, sticking the above-mentioned bending section on a binder layer, and inserting two or more fingers between the above-mentioned adhesion section and the covering section The adhesive face which held the cleaning implement and curved with this finger can be acquired, and it is effective in the dust adhering to this field for cleaning being effectively [that it is simple and] removable by pressing this adhesive face against the field for cleaning, and repeating rolling.

[0026]

Furthermore, according to what formed in the above-mentioned covering section the slit of the pair prolonged in the longitudinal direction of this covering section, it becomes possible by inserting a finger in this slit to hold a cleaning implement in the condition of could acquire the adhesive face where curvature is still larger, and having been stabilized more. Furthermore, according to what prepared the through hole broader than this slit in the both ends of the above-mentioned slit, it can prevent un-arranging [that a tear etc. arises from this part] by easing the stress concentration in that arrangement part in existence of this through hole.

[Translation done.]

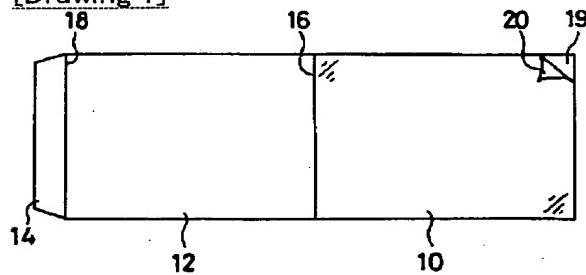
* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. *** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

DRAWINGS

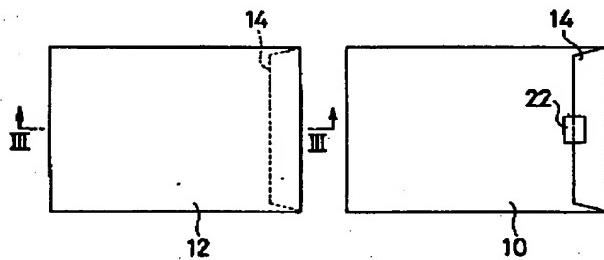
[Drawing 1]



[Drawing 2]

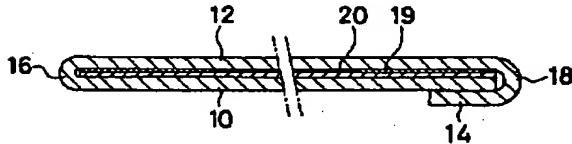
(a)

(b)

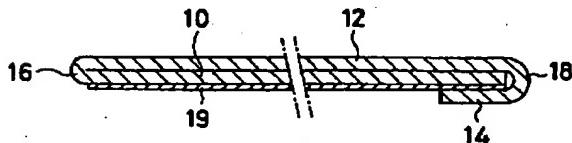


[Drawing 3]

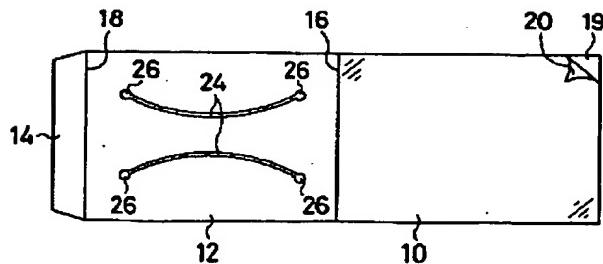
(a)



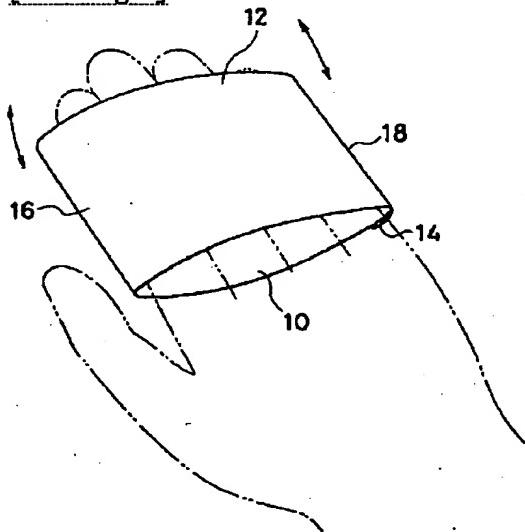
(b)



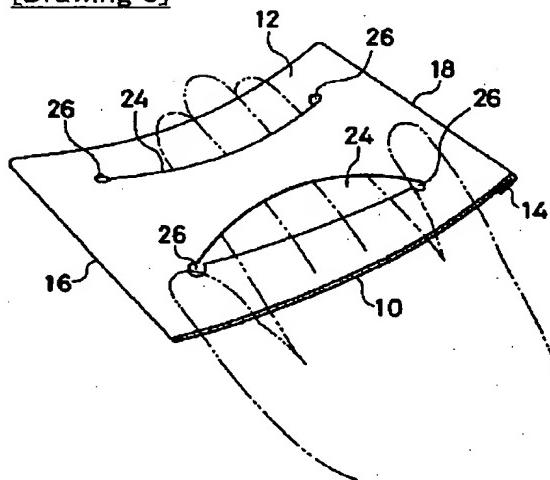
[Drawing 5]



[Drawing 4]



[Drawing 6]



[Translation done.]